

近代フランスの建築設計理論と建築教育

元岡 展久 / MOTOOKA, Nobuhisa

生活科学部人間・環境科学科

■専門分野 建築歴史・意匠
■キーワード 18世紀フランス建築史、建築教育、近代住宅論、建築設計理論

連絡先

研究内容

■概要（背景・目的・内容）

「建築設計」に関する理論、手法、教育について研究をおこなっている。

建築家が設計する際に描く様々な図面を分析し、これらと実際に建てられた建築物や、出版された理論等と比較することで、設計過程において空間を「描く」行為の意味を分析している。

また、新しい木質の構法による空間のデザインについての研究も行っている。こうした「建築設計」についての研究成果を、教育に反映させると同時に、実際の建築物の設計においても実践している。

■応用・将来展望

「建築設計」に関する理論、手法、教育についての研究は、いよいよ人々が建築をどのようにとらえ、何をともに設計していたかという点を明らかにすることである。

1) 「建築の形態分析」では、建築家のデザインや、実作品に現れた形態を調査比較し、建築家が空間を創造する際の思考や手法を解析する。2) 建築を専門にしない市民や子供たちを対象とした「住育」に関する国際比較調査から、教材開発を試みる。3) 近代の都市小住宅空間についての研究をおこない、その研究成果から具体的な住宅設計を実践し、社会への関わりを積極的に進める。

現在、共同研究を行っているテーマ、ならびに受託研究が可能なテーマは、主として以下のものがあげられる。

木造建築の構法開発（間伐材を利用した建設技術）ならびに、環境に配慮した木造住宅の設計

「住育」の国際比較、ならびに子供の環境教育用教材開発
ユビキタスコンピュータを応用した住宅の提案と設計
各種施設の建築計画、設計（寮、アパート、教育施設等）
さらに、持続可能性をもった環境配慮型の住宅の研究を進めていきたい。

■活動実績

主要研究成果

- ・長澤夏子, 元岡展久, 平田 京子, 石川 孝重『建築系大学卒業生の進路調査の経年分析』日本建築学会技術報告集, 第44号(2014年2月号) pp.393-398.
- ・高橋節子, 元岡展久『モンテッソーリ保育所における物理的環境—非モンテッソーリ保育所との比較による検討』日本建築学会技術報告集, 第44号(2014年2月号) pp.207-212.
- ・馬淵大宇, 長澤夏子, 渡辺仁史, 新田かおる, 元岡展久『モーションキャプチャシステムとHMDを組み合わせた没入型VRシステムを用いた生理的高所ストレスの推定精度の検証』日本建築学会技術報告集, 第43号(2013年10月号), pp.1073-1078
- ・『お茶の水女子大学学生寮 SCC』基本設計, 日本産業デザイン振興会 2011年度グッドデザイン賞(住宅部門) 受賞(お茶の水女子大学, 河野泰治アトリエと共同) 2011.
- ・『お茶の水女子大学ユビキタスコンピューティング住宅 Ocha House』, 基本設計, 実施設計および現場監理, 日本産業デザイン振興会 2009年度グッドデザイン賞(戸建住宅集合住宅部門) 受賞(お茶の水女子大学, 河野泰治アトリエと共同) 2009.



▼ 構法開発とデザイン

木造建築の構法開発と実現、リサイクル材、国産材を利用したサステイナブルな住宅環境実現の試み。



▼ 建築施設計画 -コンセプト立案

